



自己紹介

令和8年3月

氷見市地域おこし協力隊 9期生
(令和6年4月～)

ふせ なおき

布施 直樹

出身 大阪府茨木市生まれ

経歴 氷見市の前は京都府舞鶴市で農業をしていました
(万願寺甘とう、イチゴ、水稲他)

趣味 DIY、草野球(去年引退しました)

家族 妻と3人の子供がいます





活動場所

- ① 宇波公民館(宇波地域づくり協議会事務局)
- ② 宇波地域にあるみかん園場



宇波公民館



九殿浜展望台みかん園



ミッション

- ①宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援
- ②地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化



宇波地域づくり協議会



灘浦みかん



① 宇波地域づくり協議会に所属し、 地域活性化の取り組みを支援

宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- ・ 先進地視察
- ・ 地域向けセミナーの企画
- ・ 補助事業の申請
- ・ 仮称「宇波みかんの郷」プロジェクト
- ・ 仮称「灘浦みかん街道」プロジェクト
- ・ 宇波地域づくり協議会だよりの発行



① 宇波地域づくり協議会に所属し、 地域活性化の取り組みを支援

・先進地視察

- ① 灘浦かんきつ研究会会員と和歌山県「秋津野ガルテン」に。
- ② 富山県砺波市の「せんだんのHILL」と立山町の「釜ヶ淵みらい協議会」へ。



秋津野ガルテン



せんだんのHILL



① 宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

・地域向けセミナーの企画

令和6年度「組織マネジメント研修会」

令和7年度「ファシリテーションセミナー」

目標を達成するために、みんなで協力するには...

組織マネジメント研修会

令和5年に、「宇波地域づくり協議会」が設立されましたが、その計画を実践し、目標を達成するためには、一部の人数だけでなく、組織全体が機能しなくてはなりません。先進的な取り組みをされている津川地区で、中心的に関わっている澤田典久さんからお話を伺いたいと思います。

◎ マネジメントとは→組織の目標やビジョンを実現するために、ヒト・モノ・カネ・情報などの経営資源を効果的に活用すること。

令和7年3月9日(日)

時間 10時～12時予定
場所 宇波公民館 2階

当日の流れ

10:00～
宇波地域づくり協議会
会長 澤田輔夫 挨拶

↓

10:10～
米見市 地域振興課
植田雄太さん
「市内地域づくり協議会の
状況説明」

↓

10:30～
講師 澤田典久さん
「講演」

講師 **きわむ のりひさ**
澤田 典久
プロフィール
(一社) 富山地域おこし協力隊ネットワーク 代表理事
NPO 法人 津川活性化協議会 事務局長
Bed&Kitchen SORAIRO マネージャー
元米見市地域おこし協力隊 1期生

津川地区の特産品(ザヤマE)の6次産業化(焼酎、干芋、チップス)の推進を行う、任期後まき交流センターのマネージャーとして勤務。併せて、(一社) 富山県地域おこし協力隊ネットワークを立ち上げ、県内の協力隊向けの研修や現役指導、O・B・O・Gの相談窓口を行っている。農村RMOモデル形成事業を実施している津川地区では、里山マートシを企画するなど、若手チームをけん引、推進し続ける。

◎どなたでも参加できますので、お問い合わせのうえ、多数の皆様のご参加お待ちしております。

【主催】 宇波地域づくり協議会 【事務局】 宇波公民館 0766-78-1503

ファシリテーションセミナー開催!!

地域組織や祭り、行事を次世代に引き継ぐには...

2026年
3月8日(日)

時間 10:00-12:00
場所 宇波公民館 2階ホール
定員 30人(先着)
主催 宇波地域づくり協議会
事務局 宇波公民館
お問合せ先
Tel. 0766-78-1503

ファシリテーションとは?
参加メンバーの発言を促しながら、多様な意見をリアルタイムに理解・整理していき、重要なポイントを引き出しつつ、議論を広げ、最後には議論を収束させ意思形成をサポートする技法です。地域内で行われる様々な話し合いの場で、若者や女性に参加して、意見を出しやすく、形にしておくことで、次世代の地域活動への参加を促していく。

大学卒業後、大学職員を経てキャリア支援会社を設立。2017年～ミドルベンチャーで人事執行役員を務め、2020年3月まで 富山情報ビジネス専門学校 校長を務める。大学生向けキャリア支援プログラム開発、県内外での講演・ファシリテーション等多数の実績を持つ。

島田勝彰(しまだかつあき)
合同会社ハビオブ 代表社員
リカレントスクールHAPPISCH 学長、ファシリテーター講師



① 宇波地域づくり協議会に所属し、 地域活性化の取り組みを支援

・補助事業の申請

「美しい農村景観整備事業」

…耕作放棄地にみかんを植栽

「中山間チャレンジ事業」

…うなみんフェスティバル、仮称「宇波みかんの郷」他



耕作放棄地にみかんを植栽



みかん苗を配布



① 宇波地域づくり協議会に所属し、 地域活性化の取り組みを支援

・仮称「宇波みかんの郷」プロジェクト

宇波地域の各世帯にみかんを植えてもらって、みかんの郷に。

令和6年度は70世帯、

令和7年度は71世帯が新植。



「灘浦みかん」の苗木を 植えよう！！



連絡先：
宇波公民館

(0766)78-1503

宇波地域づくり協議会では、地域の特産品である「灘浦みかん」に愛着を持っていただき「灘浦みかんの里、宇波」として地域を盛り上げていくために「灘浦みかん」の苗木（宮川早生）の購入を支援します。

宮川早生 2年生苗 1本当たり通常 1,700円前後の物を、700円でご購入いただけるよう補助いたします。

12月13日（金）までに宇波地域づくり協議会事務局（宇波公民館内）までご注文ください。限定100本としますので、お早めにご連絡ください。お待ちしております。苗の配布は令和7年3月下旬頃の予定です。

宇波地域づくり協議会 事務局 荻野・布施



① 宇波地域づくり協議会に所属し、 地域活性化の取り組みを支援

・仮称「灘浦みかん街道」プロジェクト

地域内の幹線道路沿いにみかんを植えてシンボルロードに。

令和6年度に18本、令和7年度に30本新植。

今後も延伸予定。





① 宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援

- ・宇波地域づくり協議会だよりの発行
- 協議会だよりの創刊号と第2号、第3号、第4号の作成、発行。

1 2024年10月 第1号

宇波地域づくり協議会だよりの発行

宇波地域づくり協議会



7月17日 23名で岐阜県海津市に「南濃風出みかん」の視察に行きました。

「宇波地域づくり協議会だよりの発行にあたって」

宇波地域づくり協議会 会長 澤田邦夫

今年の夏は、記録的な暑さに見舞われましたが各位には、ますますご健勝のことと存じます。

また、本年元旦の能登半島地震では、宇波地域でも多くの家屋被災が発生し、今なお復旧・復興に努めております皆様にご心配をお見舞い申し上げます。

さて、当協議会では、安全で安心して住める自然豊かな地域づくりを進めるために「宇波地域づくり計画」を、令和6年3月に策定し、地区の皆様へ配布するとともに、氷見市にも提出しました。計画初年度の主な事業として、

- ① 7月には瀬浦かんの特産品化にむけた取り組みを進めるために瀬浦かんきつ研究会と合同で岐阜県海津市への研修旅行を実施しました。
- ② 広報の発行（年2回を予定）
- ③ 防犯カメラを2基設置（CCZ 海岸の小境、大境トイレに設置）これからも「宇波地域づくり計画」に沿って、各種事業を地域と一緒に進めます。皆さんのご理解、ご協力をお願い致します。

1 第1号

2 2025年4月



九段山園地の「瀬浦みかん」(富山県朝日山山頂)

「瀬浦みかん」を地域の特産品に

・産業振興部会

11月9日に第一回産業振興部会開催◎役員会の形を参照

【(仮称)オレンジロードプロジェクト】太陽光発電所が建設されるのに伴い、県道70号線沿いにみかんの苗木18本を植栽します。

今後、さらに植栽していくよう計画しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

【(仮称)みかんの単字装プロジェクト】各戸1本ずつ、みかんの苗木の購入に対して補助を実施。今年度は70本を苗をご注文いただきました。3月末に入荷し、皆様にお渡しします。

来春も実施予定ですので、今回注文されなかった方も是非、植える場所を準備しての注文(仮)を、お待ちしております。



また、「ふきのとうの会」に恒例のかき餅づくりで、「瀬浦みかん」食感のこんだ「瀬浦みかんかき餅」を作っていました。

今後も、試作品を作りたいと思っていますので、関心のある方は是非お声掛けください。



「瀬浦みかんスイーツ」試作

「瀬浦みかん」を使ったスイーツ試作のために、有志の女性グループと専門家に来てもらい、打ち合わせしました。

2 第2号



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化

- ・ 生産者組織「灘浦かんきつ研究会」の組織力強化
- ・ みかん園の管理作業
- ・ 先進地視察
- ・ 灘浦みかんの生産に、新しい生産技術の試行
- ・ 灘浦みかんの販路開拓
- ・ 灘浦みかんのPR活動



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

・生産者組織「灘浦かんきつ研究会」の組織力強化

- ① 規約改正
- ② 出荷目揃え会の開催
- ③ 出荷要領の制定
- ④ 繁忙期に灘浦かんきつ研究会会員の作業をお手伝い



灘浦みかん出荷目揃え会



作業手伝い



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

・みかん園の管理作業

- ① 九殿浜園地のみかん園を、灘浦かんきつ研究会会員と一緒に、農薬や肥料の散布、摘果、草刈り等の共同作業を実施する。
- ② 高齢等で管理出来なくなったみかん園の、管理作業を実施。



共同作業(収穫)



共同作業(農薬散布)



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

・先進地視察

- ① 地域づくり協議会役員と灘浦かんきつ研究会会員の総勢23名で、岐阜県海津市の南濃みかん(蔵出しみかん)の視察に行く。
- ② 灘浦かんきつ研究会会員と和歌山県JAながみねと「秋津野ガルテン」に。
- ③ 福井県福井市「果樹園たにか」と、敦賀市の「下野長兵衛みかん園」に。



「蔵出しみかん」
貯蔵庫の様子



JAながみね 剪定講習会



果樹園たにか

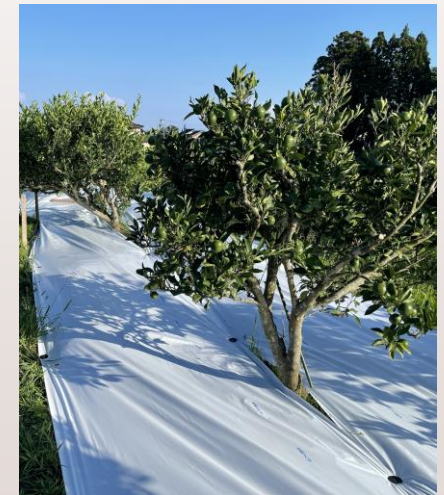


② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

- ・灘浦みかんの生産に、新しい生産技術の試行
 - ①白マルチ被覆による水分コントロール。
 - ②地元の未利用資材である、魚加工残滓肥料(×粕)、竹チップの利用。
 - ③農薬の見直し(有機JAS適合農薬の試用)。
 - ④新品種の導入検討。



魚加工残滓や竹チップを試用



白マルチ



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

・灘浦みかんの販路開拓

- ① 直売所への出荷
- ② イベント開催(うなみんフェスティバル等)
- ③ 収穫体験の実施
- ④ ロゴマーク、グッズの制作
- ⑤ 商標登録申請
- ⑥ 専用の袋、箱等の制作



イベント出店



直売所へ出荷



収穫体験の実施



専用の袋、箱の制作



② 地域の特産品である 「灘浦みかん」のブランド化

・灘浦みかんのPR活動

- ① HIMI学で氷見高校生と連携
- ② 灘浦小学校体験学習
- ③ 北部中学校で授業
- ④ メディア取材対応。



HIMI学で氷見高生と連携



灘浦小学校体験学習

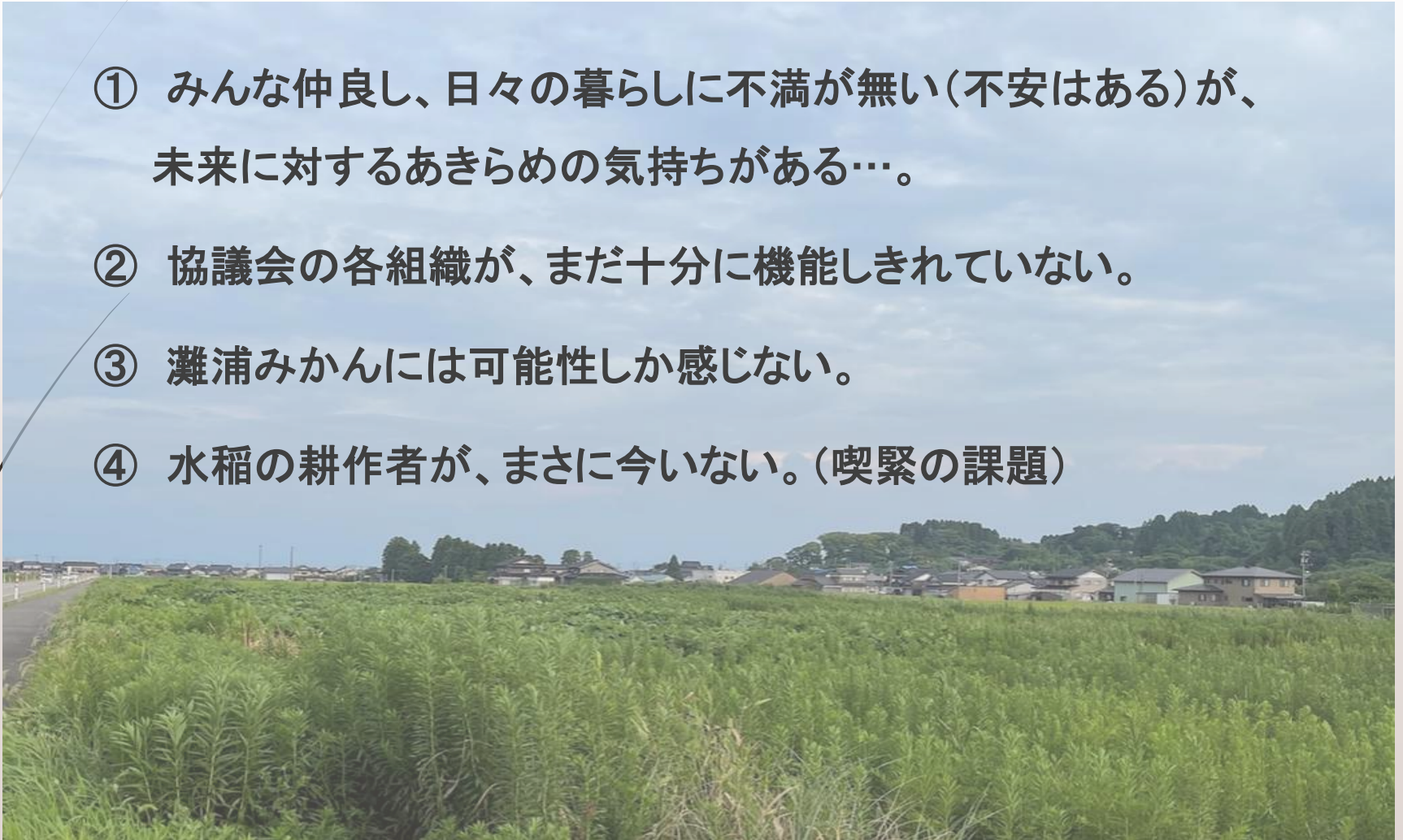


北部中学校で授業



活動を通じて感じたこと…

- ① みんな仲良し、日々の暮らしに不満が無い(不安はある)が、未来に対するあきらめの気持ちがある…。
- ② 協議会の各組織が、まだ十分に機能しきれていない。
- ③ 灘浦みかんには可能性しか感じない。
- ④ 水稲の耕作者が、まさに今いない。(喫緊の課題)





今後やりたい事…

- ①宇波地域の耕作放棄地で、みかん栽培に適した圃場のみかんを植えて生産拡大したい。
- ②地域住民が本音で話し合える対話の場をつくり、多くの人々が自由に活躍できる地域にしたい。
- ③継続的に事業（農業）を実施していくために、法人を立ち上げたい。